

## Community Medicine and Public Health Posting @ UNIMAS 行程表

### 1月6日(木)

Faculty に到着後お互いに自己紹介、faculty、library、hostel に関するガイダンス

### 7日(金)

3 日からの PBL の discussion テーマは food poisoning

### 8日(土)

午前中に Sibu hospital 訪問、午後に IBAN 族の long house 訪問

### 10日(月)

午前：PBL trigger (nasopharyngeal cancer)(上咽頭がん)

午後：intervention に向けて Dikit Barat という iban 語の歌と poco poco という踊りを練習。

### 11日(火)

午前：Sibu OYA poliklinik 訪問

午後：昨日に同じ

### 12日(水)

午前：Klinik kesihatan jalan latang 訪問

午後：Agape Center(愛之家)訪問

### 13日(水)

午前：Family planning 訪問

夕方：先生方と BBQ 交流会

### 14日(金)

Long house にて intervention の準備

### 15日 16日(土日)

Intervention day

フットサル交流会、Dikit Barat&poco-poco 披露、喫煙に関する事前調査の展示、禁煙を呼びかける映画の上映(UNIMAS 学生出演)、UNIMAS 生による簡易レクチャー(マレー語)、検診(身長、体重、腹囲、血圧測定)

17 日(月)

午前：PBL trigger(Occupational Health :Asbestosis)

午後：post survey @ IBAN

18 日(火)

午前：Seizure institution(DHO 保健所の役員による飲食店、食品販売の清潔度立ち入り調査の見学)

夜：浄水の仕組みに関する授業

19 日(水)

午前：清涼飲料水製造工場訪問

午後：Loji perawatan air salim(浄水場)訪問

夜：統計学 lecture

20 日(木)

午前：food inspection practice

23 日(日)

夜：PBL discussion(NPC)

24 日(月)

午前：lecture (health informatics)

午後：lecture (statistics)

25 日(火)

午前：Klinik Kesihatan Sekuau 訪問

夜：Long house (IBAN)訪問、挨拶

26 日(水)

Leaving Sibul

### 活動の目的

ボルネオ島にあるマレーシアサラワク州シブで地域医療と公衆衛生を学ぶことで、医療制度や公衆衛生の実態に関して日本との違いを体感する。また、医学部教育の違いにも着目する。

### 内容

PBL に並行して、地域医療と公衆衛生に関して以下の実習を行った。必要に応じて、理解の助けになるよう教員による授業が行われた。

地域医療: Sibul OYA poliklinik、Klinik kesihatan jalan datang、Klinik Kesihatan Sekau、agape centre 訪問

公衆衛生: intervention 原住民イバン族に対する禁煙キャンペーン、Loji perawatan air salim、Family planning centre 訪問、food inspection 実習

### 成果

PBL という学習方法を体験できた。各ケースに対して、診療、病態、疫学に関する調べ学習を行い、皆でシェアした。テストの解答用紙に知識をぶつけるのではなく、人と discussion するため、お互い良い刺激になり、学習のモチベーションが能動的であった。

医療制度に関しては、医師不足をカバーするために assistant medical officer の存在によって重症患者のみが医師の診療を受ける仕組みができていること、専門課程に行く前の医学部卒業後研修が 3 年間の house officer として義務化され、彼らが重症患者のみを専門医に送ることになっていることなど、日本と違う点を実感できた。

サラワク州は人口当たりの医師数的にも、地理的に広すぎる点でも、医師不足の地域であり、予防医学の重要性は高い。啓蒙人員は不十分であり、その分教員に限らず学生でも十分に威力を発揮できる機会に恵まれている。これも PBL 同様、学生主体であるため、学習効果は高かったと思われる。

### 今後の抱負

PBL、公衆衛生実習などの教育システムや医療制度に関して、日本との違いにいくつかのアイデアを垣間見ることができた。卒後研修は自身の診療能力を上げることにいっぱいになり、医学教育や予防医学などの重要性を忘れがちである。今回の経験は地域住民全体の健康に気を配れるような医師になりたいというモチベーションを与えてくれた。